



9-36
文学

『方丈記』と鴨長明
～困難な時代をどう乗り越えるか～



会場	学園都市センター ※ P87 参照
提供	明星大学
曜日・回数	木曜日 5回
時間	15:20～16:50
受講料	4,000円
定員	20名
実施日	9月 14日 21日 28日 10月 5日 12日

誰もが一度は冒頭を暗唱した鴨長明の随筆『方丈記』。この作品を一言で言い表すなら、戦乱と災害の時代を冷徹に観察した記録、となるでしょう。鴨長明はいわゆる「負け組」です。『方丈記』とはいわば負け組長明の、挫折者だからこそとることのできた世界に対する距離感の記録、ということもできるでしょう。ですから大きな戦乱や災厄のあと、私たちはこの古典を読み継ぎ、現実のつらさをやりすごす術をそこから学びとってきたのです。

本講座では一緒に『方丈記』を読み解き、当時と今を重ね合わせながら、鴨長明の世界に対する距離感について考えてみたいと思います。800年以上前の作品ですが、それほど難解では

ありません。現代語訳付きのテキストを使用いたしますので、気軽にご参加ください。

備考
教材費：1,000円程度
(テキスト代)
※受講料の他必要となります。

受講生への
メッセージ

共通テキストとして角川ソフィア文庫『方丈記』（現代語訳付き）を用います。出席希望の方は事前に購入しておいてください。1回の講座では5～10ページ程度を扱います。

【講師】金子 祥之（かねこ よしゆき）人文学部 非常勤講師
経歴：明星大学非常勤講師 明治大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学
専攻：19世紀末のドイツ語圏の文化・文学